

複数大学間連携プログラムの運営を支援する参加者管理システム

-Moodle の標準機能を活用したシステム構築-

長岡 千香子¹⁾, 喜多 敏博²⁾, 吉田 護¹⁾, 竹内 裕希子¹⁾, 藤見 俊夫¹⁾, 松田 泰治¹⁾

1) 熊本大学大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター

2) 熊本大学 e ラーニング推進機構

cnagaoka@kumamoto-u.ac.jp

概要：減災型地域社会に役立つ専門知識・技能をそなえた人材を育成するための複数大学連携プログラム「減災型地域社会のリーダー養成プログラム」では、熊本市内の4つの大学から学生が参加するため、各学生の取得単位数の把握やeポートフォリオへの入力促進等を一元的に行うことが困難であった。そのため、既に本プログラムでeラーニングシステムとして利用しているオープンソースの Learning Management System (LMS) である Moodle を利用して、プログラム運営を支援することができる参加者管理システムを構築した。このシステムを利用することで、学生には、プログラムへの参加表明に始まり、リーダー認定に至るまで、自身がどの段階にいるかを明確に表示できる。また、教員には、全学生の現状や、審査すべき対象者を一覧で表示できる。

1 はじめに

近年の日本では東日本大震災をはじめ、多くの自然災害が発生している。その自然災害に対して、被害を最小化するためには、堤防のかさ上げ工事などのハード面のみでの対策では不十分であり、ソフト面における対策が必要という認識が広まってきている。熊本大学、熊本県立大学、熊本学園大学、熊本保健科学大学は、減災型地域社会を実現するためのリーダー（以下、減災型地域社会リーダー）を育成するためのプログラムを大学間連携共同事業として実施している。認定を希望する学生は4大学共通の必須科目（2単位）である「減災リテラシー入門」で減災に関する基礎的な知識・スキルを身につけ、その後、各大学が提供する選択必須科目（6単位）を履修する。必須科目と選択必須科目を履修し、eポートフォリオを提出することで「減災型地域社会リーダー」として認定される。

しかしながら、このプログラムに参加する学生は異なる場所にある複数の大学に所属し、所属する学部も多岐にわたるため、「減災型地域社会リーダー」として認定するために必要な選択

必須科目の履修も多様であり、各自の履修状況に応じてeポートフォリオの入力を促すことが難しい。また、このプログラムが始まって4年目を迎えるにあたり、プログラムの参加者を統合的に管理するための参加者管理システムを構築し、できる限り自動化することで、管理者の負担を軽減させる必要があった。eラーニングシステムおよびeポートフォリオシステムを本プログラムでは既に導入しており、これ以上、システムを増やすと混乱を招くこと、システムを維持するための費用や負荷が増えることから、既にeラーニングシステムとして利用している Moodle を利用することとした。

2 各参加者の状況を反映するシステム

2.1. 参加者管理システムのあらまし

参加者管理システムの利用目的は、「減災型地域社会リーダー」として認定するために必要な選択必須科目の履修状況、eポートフォリオの入力状況などプログラムに参加している学生の状況を一元的に確認することである。そのため、

まず、学生がプログラムへ参加してから認定を申請するまでに必要な作業を抽出し、6ステップに分けた。そして、各ステップとして表示された作業を学生が行う学生用画面と、各学生の履修状況やeポートフォリオの入力状況などを一覧で確認するための教員用画面を作成することとした。

2.2. 参加者管理システムの構成

2.2.1. 学生用画面

Moodle のコーストップ画面を学生用画面と

して利用した (図 1)。プログラムへ参加した学生が行う作業は下記の6つのステップに分かれており、各ステップが終わるごとに、小テストとして設置された「完了の確認」を受験し、ステップが終了したと回答することで、次のステップが表示される。

ステップ0: プログラムへの参加表明

このステップで養成プログラムへの参加表明を行う。

ステップ1: 個人情報を入力

減災 日本語 (ja) 長岡 千香子
あなたは sample user3 としてログインしています

減災型地域社会のリーダー養成プログラム

Home > check_course

管理
▼ コース管理
■ 認定

ナビゲーション
Home
● ダッシュボード
▶ サイトページ
▼ 現在のコース
▼ check_course
▶ 参加者
▶ パップ
▶ 減災型地域社会リーダー養成プログラム 申請の流れ
▶ ステップ2:履修中の科目, 単位を取得した科目を入力しましょう
▶ ステップ1:個人情報を入力しましょう
▶ ステップ0:プログラムへの参加を表明, しましょう
▶ マイコース

フォーラムを検索する
Go
検索オプション

直近イベント
直近のイベントはありません。
カレンダーへ移動する...
新しいイベント...

最新ニュース
投稿チェック
05月24日 12:08 長岡 千香子
過去のトピック...

最近の活動
2015年 10月 16日 (金曜日) 15:41 以上の活動
最近の活動詳細...
新しい活動はありません。

減災型地域社会リーダー養成プログラム 申請の流れ

減災型地域社会のリーダー養成プログラム履修者用掲示板

連絡先:
この画面について不明な点があれば、「学籍番号」と「氏名」をそえて、下記までご連絡ください。
gensai1@kumamoto-u.ac.jp

ステップ0:プログラムへの参加を表明, しましょう

ステップ1:個人情報を入力, しましょう

ステップ2:履修中の科目, 単位を取得した科目を入力, しましょう

ステップ3:eポートフォリオで最終振り返り, しましょう

ステップ4:修了認定の申請, しましょう

ステップ5:減災型地域社会リーダーに内定, しました

ステップ0からステップ5のメニューが表示され、自身がどのステップにいるのかが表示される

ステップ2: 履修中の科目, 単位を取得した科目を入力, しましょう

このステップでは、履修中の科目・単位を取得した科目の入力、eポートフォリオ評価表への入力を行います。

(1)履修中の科目, 単位を取得した科目を正確に入力, しましょう。下記の科目名をクリックすると、「履修中」にも「単位を取得した」の選択ができます。

- 減災型地域社会づくり
- 社会地球科学
- 火山学
- 地域防災学
- 地圏防災工学

履修中の科目:

単位を取得した科目:

(2)単位取得した選択必修科目がある場合は、学習成果をeポートフォリオに入力, しましょう。
eポートフォリオの評価表を編集する場合は、こちらをクリックしてください。
*クリックすると、eポートフォリオシステムへのログイン画面が表示されますので、ログインしてください。
*ユーザー名・パスワードがわからない場合は、下記を参考にしてください。
*ログイン用のユーザー名はeラーニングシステム (Moodle) と同じです。

*ユーザー名がわからない場合
画面右上にある自分の名前をクリックするとメニューが表示されますので、「プロフィール」をクリックしてください。
ユーザー詳細の「プロフィールを編集する」をクリックしてください。
クリックをすると、「ユーザー名」が表示されます。そのユーザー名がeラーニングシステム (Moodle) とeポートフォリオシステム (Mahara) で共通のユーザー名です。

*変更したパスワードを忘れてしまった場合
下記のページでパスワードの再発行をしてください。
eポートフォリオシステム パスワード変更画面

*上記の方法でユーザー名を確認し、再度ログインを試みてもできない場合は、下記までご連絡ください。
gensai1@kumamoto-u.ac.jp

【ステップ2:完了の確認】選択必須科目を3科目以上履修し、修了認定を希望する

該当するステップでの作業が終了すると、次のステップの画面が表示される。

図 1 : 参加者管理システム (学生用画面)

所属（大学・学部・学科），入学年度，認定証の送付先住所，連絡先などをこのステップで入力する。

ステップ2：履修中/単位取得済みの科目を入力

履修中の科目や単位を取得した科目を入力する。このプログラムでは選択必須科目を履修するとともに，その科目を履修して「減災型地域社会リーダー」として必要とされるコンピテンシー[1]を満たしたのかをeポートフォリオへ入力させている（評価表の作成）。そのため，このステップでeポートフォリオの評価表への入力も促す。

ステップ3：最終振り返りの入力

全ての選択必須科目の履修が終了すると，eポートフォリオで本プログラムで各自が学んだことの総括（最終振り返り）を行わせている。そのため，このステップでプログラムの総括をeポートフォリオへ入力するように促す。

ステップ4：修了認定の申請

「減災型地域社会リーダー」の認定に必要な要件（必要な単位数の取得とeポートフォリオの最終振り返りへの入力）が済むとこのステップが表示されるので，このステップで修了認定を申請する。

ステップ5：内定のお知らせ

減災型地域社会リーダーとして認定されると，審査結果が表示される。

2.2.2. 教員用画面

教員用画面では，学習者の氏名，所属（大学

名・学部・学科），証書の送付先，選択必須科目の履修状況，取得単位数，認定状況が一覧で表示される（図2）。これはMoodleの評定機能を利用しており，各大学の担当教員はこのページを確認することで，学生の科目の履修状況や修了認定申請の有無を確認することができる。また，学生が「減災型地域社会リーダー」としての認定を申請し，その学生を認定することが決定した場合，この画面で審査結果を入力することができる。

3 まとめ

本発表では，複数の大学が参加する大学間連携プログラムにおいて，学生の科目の履修状況の確認やeポートフォリオへの入力の促進などを一元的に行うための参加者管理システムの構築について述べた。参加者管理システムは既にeラーニングシステムとして導入していたMoodleの標準機能を用いて構築した。

本システムはまだ試作の段階であり，来年度より本格的な運用が始まる。そのため，運用を開始してから，インターフェースの改良等を行い，継続して利用できるシステムを構築したい。

引用文献

[1] 高橋暁子，吉田護，喜多敏博，山田文彦，Local Knowledgeを活かした減災型地域社会リーダーのコンピテンシー開発プロセス，日本教育工学会論文誌，Suppl.38, 57-60. 2014年

The screenshot shows a web interface for managing participants in a disaster relief leadership program. At the top, there's a breadcrumb trail: Home > check_course > 評定管理 > 評定者レポート. Below this, there's a dropdown menu for '評定者レポート' and a button for '編集モードの脱離'. The main content area is titled '評定者レポート' and shows 'すべての参加者:7/7'. There are three tabs: 'プログラムの参加者の個人情報', '選択必須科目の履修状況', and '認定の申請状況'. The '履修状況' tab is active, displaying a table with columns for participant ID, name, email, year of entry, certificate type, department, faculty, school, and course completion status for various subjects. The table includes sample users and a real user named '長岡千香子'.

姓・名	IDナンバー	メールアドレス	入学年度	認定証送付先	所属学部・学科	所属学部	減災型地域社会づくり	火山学	地域防災学	地震防災工学	社会地科学	履修科目数	取得単位数	認定状況
sample user1	sample1	gensai_sample1@dammy.com				大学	履修中	-	-	単位取得済み	-	8科目	-	履修済(社会科学・専修)
sample user2	sample2	gensai_sample2@dammy.com	2006年度	熊本県熊本市	文学部英文学科	大学	履修中	-	-	単位取得済み	-	8科目	-	履修済(社会科学・専修)
sample user3	sample3	gensai_sample3@dammy.com	2007年度	熊本県宇城市	法学部法学科	大学	-	-	-	-	-	-	-	-
sample user4	sample4	gensai_sample4@dammy.com			文学部英文学科	大学	-	-	-	-	-	-	-	-
sample user5	sample5	gensai_sample5@dammy.com			法学部法学科	大学	-	-	-	-	-	-	-	-
testuser 1	gensai-test1@dammy.com						-	-	-	-	-	-	-	-
長岡千香子					大学	履修中	-	-	-	-	-	1科目 (-)	-	履修済(自然科学)

図2：参加者管理システム（教員用画面）